

BRIDGEPLUS

関東労災病院医療連携情報（令和8年2月号）

INFORMATION

クラウドファンディング終了のご報告

診療科紹介（泌尿器科）

診療科紹介（産婦人科）

医療連携講演会のご案内

クラウドファンディング終了のご報告

手術室増設工事完了と手術支援ロボット「ダビンチ（da Vinci）」導入のお知らせ

プロジェクトリーダー

副院長

東川 晶郎

Higashikawa Akiro

この度は、クラウドファンディングプロジェクト「手術を待つ患者さんのために。手術室の増設・環境整備にご支援を！」に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年8月25日から11月7日までの約2か月半にわたる募集期間の結果、853名（WEB 485名、窓口 368名）の皆様から、目標額を大幅に上回る総額30,888,000円のご寄付をいただき、本プロジェクトを無事に達成することができました。特に近隣のクリニックや医療機関の皆様からは多大なご支援を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。いただいたご寄付は、手術室の増設および環境整備に大切に活用させていただきます。

当院では年間約7,000件の手術を行っておりますが、これまでは10室の手術室で対応してまいりました。しかし、受け入れ枠の限界から「早期手術を希望される患者さんのご要望に十分にお応えできない」「手術が必要な救急患者さんの受け入れが困難である」といった課題を抱えておりました。これらの状況を改善し、さらに一部の手術における低侵襲化・精密化・安全性の向上を図るため、この度、手術支援ロボット「ダビンチ（da Vinci）」を導入するとともに、その運用に不可欠な手術室の増設を決定いたしました。

約半年間にわたる工事を経て、昨年12月に11室目となる手術室が完成し、本年1月よりダビンチの運用を開始いたしました。

ダビンチ手術は、1月に泌尿器科、2月に産婦人科で開始し、消化器外科においても4月以降に開始を予定しております。本号では、導入にあたり準備を進めてまいりました泌尿器科と産婦人科の取り組みについてご紹介いたします。

引き続き、当院の理念である「地域のために、働く人のために、急性期医療、高度医療を提供する病院として最善を尽くします」に基づき、より質の高い診療に努めてまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



（次ページへ続く👉）

BRIDGEPLUS

診療科紹介（泌尿器科）

ロボット（ダビンチXi）支援下手術の導入により、より精度の高い手術を地域の皆様へ

当院の長年の懸案となっておりました、手術支援ロボット（da Vinci Xi）がこの1月からいよいよ運用開始となりました。まずは前立腺癌に対するロボット支援下前立腺摘除術から始めてまいります。


前立腺は、開腹で摘除を行う場合は、前立腺を括約筋群や直腸から剥離や膀胱頸部と尿道の吻合といった一連の過程を骨盤底という狭い空間で行う作業の連続で、例えるならば茶筒の奥にあるものに対して精密作業をするようなものです。直視下の作業では限界があり、周囲組織、特に括約筋のダメージが起きやすく、術後尿失禁が遷延しやすい、といった問題がありました。ロボット支援下前立腺摘除術は一言で言うならば、ロボットアームを用いた腹腔鏡手術、ということになります。ただ、通常の腹腔鏡下手術と異なり、鉗子類に関節があるため、操作の自由度が飛躍的に向上し、鏡視下での近接視野でより精密な操作が可能となっております。そのため、開腹手術に比べて、剥離操作などに伴う括約筋へのダメージも少なくなり、術後尿禁制の回復も回復に比べて早くなる傾向が報告されております。さらに、拡大視野での操作が可能となるため、術後の再燃のリスクも低いと報告されており、患者さんにとっても非常にメリットの大きい手術となります。

このような背景があり、前立腺全摘は昨今ではロボット支援下手術が標準術式となっており、当科の手術症例は他院に手術をお願いする状況が続いており、皆様にご不便をおかけしておりました。昨年春からの手術室の改装・増築工事が秋に完了し、12月にda Vinci Xiが納入され、スタッフのトレーニングや準備を経て、当科では1月26日からロボット支援下前立腺摘除術を開始いたします。当面はロボット支援下前立腺摘除術を行い、順次、腎部分切除術、膀胱全摘除術と対応できる手術を増やしていく予定です。

さらに、手術室増設もされておりますので、今後人員配置などの調整が果たしたら、手術枠を増やし、地域の皆様のニーズに応えさせていただければと考えております。

併せて、11月より当科で難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法を開始いたしました。抗コリン剤などの内服治療に抵抗する、もしくは合併症・副作用で内服継続が困難な患者さんがいらっしゃいましたら当科にご相談いただけますと幸いにございます。

今後も皆様とともに地域の健康を支えてまいりたいと考えております。関東労災病院および関東労災病院泌尿器科を引き続きよろしくお願い申し上げます。

( 次ページへ)

泌尿器科 部長 野宮 明
Nomiya Akira



左から2人目が野宮部長

【関東労災病院地域医療連携室】

患者さまのご紹介・逆紹介、各種検査予約、診療情報に関するお問い合わせにつきましては、地域医療連携室が窓口となって対応いたします。

どうぞお気軽にお問い合わせください。

TEL: 044-435-5031 FAX: 044-435-5030

臓器	疾患	検査	治療
副腎	副腎腫瘍、褐色細胞腫	血液検査、CT、MIBGシンチ	腹腔鏡下手術
腎臓	腎癌	エコー、CT、MRI	手術（腹腔鏡、小切開、開腹） 手術適応ない場合、免疫チェックポイント阻害薬や 分子標的薬による薬物療法
	腎血管筋脂肪腫	エコー、CT、MRI	基本的に経過観察、増大例については手術検討
腎尿管	腎盂癌・尿管癌	エコー、CT、MRI、 逆行性腎盂造影、尿細胞診など	手術（腹腔鏡、小切開、開腹） 進行例では化学療法、姑息的放射線治療
	結石	エコー、KUB、CT	TUL、PNL、切石術（腹腔鏡、小切開、開腹） ※ 体外衝撃波は現在行っておりません
膀胱	膀胱癌	エコー、CT、MRI、 尿細胞診など	TURBT、膀胱全摘＋尿路変更術 進行例では化学療法、姑息的放射線治療
	膀胱結石	エコー、KUB、CTなど	膀胱碎石術、膀胱切石術
	難治性過活動膀胱	エコー、尿検査、尿流測定等	ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法
	間質性膀胱炎・膀胱痛症候群	エコー、CT、尿細胞診など	膀胱水圧拡張術、膀胱内注入療法、薬物療法など
前立腺	前立腺癌	エコー、CT、MRI、 血液検査、生検	ロボット支援下前立腺摘除術、内分泌療法、放射線治療 ※ 手術症例は他院紹介 開腹前立腺全摘は対応可
	前立腺肥大症	エコー、CT、MRI、 血液検査、尿流測定	薬物療法、自己導尿、カテーテル管理、 手術（TURP、被膜下摘除術）
精巣	精巣腫瘍	血液、CT、MRI	高位精巣摘除術、化学療法、必要時放射線治療
	陰嚢水腫	エコー、CT	穿刺吸引術、陰嚢水腫根治術
尿路全般	感染症（膀胱炎、前立腺炎、 精巣上体炎、腎盂腎炎）	血液、尿、CT、エコーなど	内科的治療、 必要時ドレナージ（尿管ステントや腎瘻など）
	その他	尿管炎・尿管遺残	培養、CT、MRI、エコーなど 内科的治療、手術（腹腔鏡下手術）

診療科紹介（産婦人科）

産婦人科 部長 松本 陽子
Matsumoto Yoko

産婦人科では、婦人科腫瘍専門医計2名を含む常勤医10名（うち産婦人科専門医5名）で、充実した産婦人科診療を行っております。特に婦人科腫瘍の治療については、婦人科腫瘍専門医を中心としたチームで対応しており、治療が困難な進行悪性症例に対しても全身の状態を考慮しながら可能な限り集学的治療を心がけています。また、昨今の低侵襲手術のニーズに合わせ良性腫瘍および早期がんに対する腹腔鏡手術を積極的に活用しています。さらにこの度、婦人科でも手術ロボットda Vinci Xiを導入することとなりました。ロボット手術はその繊細な視野と動きを最大限に活かすことで腹腔鏡手術に比べ術後の疼痛が軽減される傾向にあり、また高BMIの患者さまなど難手術症例に対しても低侵襲手術の選択肢の幅が広がることが期待されます。



産婦人科スタッフの集合写真（前列左から2人目が松本部長）

周産期分野では、産科麻酔専門医による無痛分娩（当院では麻酔分娩と呼んでいます）も引き続き枠を拡大して対応しています。希望者全てが対象ではありませんが、最大2日間にわたる計画誘発で多くの妊婦さんが硬膜外麻酔による疼痛緩和下で分娩に至っております。誘発不成功であっても、希望者には翌週の枠を可能な限りご提案するなど患者さんに安心して快適な医療を提供できるよう皆で努力しています。

大量出血や全身状態の悪化など緊急の状況にある患者さんは、直接お電話をいただければ可能な限り当日診察等いたします。今後も地域の先生がたと連携をとりながら産婦人科のさまざまな疾患に対応していきたいと思っております。引き続き関東労災病院産婦人科をどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療連携講演会のご案内

第126回

整形外科・スポーツ整形外科クリニカルカンファレンス

日時：2026年3月5日(木) 19:00～20:30(終了予定)

場所：関東労災病院 外来棟3階 講堂

(住所 〒211-8510 川崎市中原区木月住吉町1-1)

【講演内容】

①「外傷、THA、TKA、UKAバリバリやっています

～ご紹介お待ちしております～」

大西 功馬 整形外科医員

②「FESS(全内視鏡下脊椎手術)とカンロウと私」

佐々木 克幸 整形外科(脊椎外科)医員

内科医療連携講演会

日時：2026年3月19日(木) 19:00～20:30(終了予定)

場所：関東労災病院 外来棟3階 講堂

(住所 〒211-8510 川崎市中原区木月住吉町1-1)

【講演内容】

①「貧血のはなし～Pitfall及び、結構難しい腎性貧血との鑑別などについて～」

藤井 知紀 腫瘍内科部長

②「演題未定」

鹿島 悟 神経内科医員

両講演会へのお問い合わせ・お申込みは、

関東労災病院地域医療連携室までお願いします。

TEL: 044-435-5038 (直通)

Email: ijikakari2@kantoh.johas.go.jp

<担当:草生>